

葬祭助成制度を創設し  
人生の最終章に  
尊厳と安心を

互  
金次郎

(問) 電動アシスト自転車購入  
助成事業を  
(答) 市長 研究します。

(問) 3人乗り自転車レンタル  
事業で子育て支援を

(答) 市長 今後、研究します。

## 介護予防事業の拡充と 生涯スポーツ振興について

電動アシスト自転車

# 吉川市食育推進計画から 「グリーン・ツーリズム」の 推進を

で、有望な地域であると考える。なお、休憩所や路地野菜販売などは、地域と連携し検討。

(問) 急速な高齢化と、厳しい経済情勢が続く中、様々な事情からいざという時の葬祭費に苦慮する方は、少なくはありません。

市民の人生最終章の尊厳と安心を支援するため、葬祭助成制度を創設しては。

(答) 市長 現下の不況により経済的困難から葬祭費の負担が重くなっている状況があると認識しています。健康保険法による埋葬料の支給がありまます。県社会福祉協議会の生活福祉資金制度による貸付制度につきましても周知をしています。このような制度を活用し助成制度は他団体の事例なども参考に研究します。

(問) 狹山市などで実施しています規格葬儀制度のご検討は。

(答) 健康福祉部長 規格葬儀は狭山市はじめ11地域で実施しています。葬儀を低価格で行えるメリットがあります。市内の12事業者に規格葬儀が可能かどうか働きかけます。

(③) ふらっとスポーツを核として、子どもから高齢者までの地域スポーツの振興を。  
**(答) 健康福祉部長** ① 22 年度に制度設計を図り 23 年度か 24 年度までに導入。② 新設小が吉小のような複合施設の場合開催を検討。各小学校区単位の開催も将来的に考える。  
**(答) 教育部長** ④ リズム体操、ストレッチなど介護予防につながるよう考え、健康福祉部とも連携を図っていく。

(問) 小野謹  
①平成20年6月議会で提案した介護支援ボランティア制度の早期導入を②健康体操教室を駅南に新設予定の複合

経済情勢が続く中、様々な事情からいざという時の葬祭費に苦慮する方は、少なくはありません。

(答市長 今後 研究します。)

(問) 生活排水処理基本計画の目標年次と策定年月は。浄化槽市町村整備推進事業では単独浄化槽から合併浄化槽に転換した場合個人負担は約6分の1となる。これを基本計画にしつかりと位置付けては。

(答) 市民生活部長 平成37年を目標年次とし本年6月策定を目指す。効率的な手法を選定し基本計画に位置付ける。

◆環境にやさしいまちづくり  
（問）環境保全協定制度の充実について①地域説明会にオブザーバー制度を②緑地確保、路上駐車防止の具体的な内容は  
（答）市民生活部長 ①専門的知識を持つたオブザーバーの出

## 五十嵐 恵千子

で、有望な地域であると考える。なお、休憩所や路地野菜販売などは、地域と連携し検討。

②過去、排水路を整備していいただいた平方新田地区や廃材で水路の整備をする深井新田を新たな産直コースとする計画を住民と協同で策定しては(答)市長 ①まだ計画の段階だが、関係課と連携を図りながら、市内の農産物生産農家や逸品取扱店などをめぐるウォーキング大会などを行いたい②当地域では、なごみ堤や防災ステーションの計画が進められ、市でも幹線排水路整備を進めている。これらをうまく活用できれば、周辺を散策するコースづくりを考える上

かねてより提案の「産直・逸品めぐり」の開催が盛り込まれ、教育によるまちの活性化も期待できると高く評価します。

◆「赤ちゃんの駄」設置事業で  
外出しやすい環境整備を

整備済みの排水路(平方新田)